

【年度】 沖縄県における観光消費による経済波及効果

○平成21年度の県内への経済波及効果	6,616億円
対前回調査(平成16年度)	△1.5%、△104億円
○雇用効果	79,468人
対前回調査(平成16年度)	+8.3%、+6,091人

1. 概要

- 平成21年度の県内への経済波及効果は6,616億円となり、前回調査(平成16年度)結果を104億円、1.5%下回った。
- うち、県民の観光消費による経済波及効果は、1,007億円で前回調査結果を200億円、16.6%下回った。一方、県外客・外国客の観光消費による経済波及効果は、5,609億円となり、前回調査結果を96億円、1.7%上回った。
- 経済波及効果の減少要因としては、県民旅行者数及び旅行1回あたり消費額の減少に伴う観光消費額の減少が挙げられる。
 平成21年度は、リーマンショック以降の景気低迷、新型インフルエンザの流行、またエコカー減税・補助金制度、家電エコポイント等の施策による消費の前倒しなどで旅行マインドが低下した年であった。
- 平成21年度の宿泊業、飲食サービス業における就業者数は、平成16年度と比較して増加していることから雇用効果が増大したものと考えられる。

2. 前回調査との比較

	経済波及効果 (百万円)	雇用効果 (人)	入域観光客数 (人)	観光消費額(百万円)	
				県民	県外・外国客
H21年度(A)	661,606	79,468	5,690,000	441,788	377,832
H16年度(B)	672,015	73,377	5,171,600	446,717	369,404
H12年度(参考値)	731,400	78,107	4,497,300	478,300	377,300
前回調査比(A)-(B)	△10,409	6,091	518,400	△4,929	△13,357
前回調査比(A)/(B)	△1.5%	8.3%	10.0%	△1.1%	△17.3%

※ 平成16年度の数値は確定値を使用し遡及修正した